

# 社会科学学習指導案

指導者 大西 弘員

日時 令和元年5月7日(火) 第5校時(14:00~14:50)

年組 中学校第2学年2組 計40名(男子20名,女子20名)

場所 中学校第2学年2組教室

## 教材 or 単元について

本教材「世界から見た日本の人口」については、社会科の学習内容のなかでも、われわれの日常生活において比較的身近な内容である。特に生徒が生きていく21世紀の中盤から後半にかけては、発展途上国における「人口爆発」に起因する食料・エネルギー・資源不足や人権の尊重等の課題が、工業先進国では「少子高齢化」に起因する労働人口の減少と高齢者の増加と介護の課題が予想される。この課題を究明するためのアプローチは多様であり、授業時間内で扱ううえでも協働的問題解決が有効となる。また、この課題を探究する際には、**3**地域別人口の移り変わり(東京書籍 地理の教科書, P.156を参照)を入りに、「地球上では約60年間のうち、人口が増えている場所と横ばいの場所」ということに気づかせ、多くの資料の分析を通じて社会科的知識を駆使して考えられるところに価値がある。

本学級の生徒は、社会科の学習に対する関心がおおむね高く、意欲をもって取り組むことができている。最初の授業で、「これまで社会科が苦手であった」・「歴史は得意だが地理は苦手」と答えた生徒は約50%であったが、「一人では解決できない課題」を協働学習という方法を使って探究することにより、自分の考えと仲間の多様な意見を比較・検討したうえで、新しい自分の意見を表現できるようになっている。課題としては授業終了後にどれだけの学習内容が定着できているかである。

指導にあたっては、資料の活用と共働学習の時間大切に取り扱い、グラフやデータの読み取り、考え方や結論を探究的に模索できる学習環境を作りつつ、学習を通じて学んだことやそれらを元に提案を表現できるようにしたい。また、他の人の考えを聞きあう場面において授業者は、解決に向けてどのような社会科的知識を駆使しているかを意識させるような生徒への介入にとどめ、一往復半以上のつなぎ役に徹していきたい。このことによって、活動をふり返る場面で、自らもっている社会科的知識を再構成し、価値づけできるようにつなげたい。なお、既習の社会科的知識が不十分であるために課題の結論づけが困難な生徒へは、本人の学習に直接関係する学習内容についての技能や考え方を支援できるようにしたい。

## 指導目標

1. 課題解決に向けて、仲間の考えをふまえて自分の考えをもてるようにする。
2. 習得した社会科的知識を活用し、自らの社会科的知識を表現できるようにする。

## 指導計画(全15時間)

1. 世界から見た日本の自然環境 ..... 6時間
2. 世界から見た日本の人口 ..... 2時間(本時)
3. 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 ..... 5時間
4. 世界と日本の結び付き ..... 2時間

## 本時の目標

世界と日本の人口の変化を比較し、発展途上国や先進工業国それぞれが抱える人口問題への提言ができる。

## 学びを豊かにするための手立て

本時は、4人班による協働学習でグラフやデータの読み取り、交流させる場面を設定している。したがって、得意・苦手に関係なく生徒全員が意欲的に学び合い、新たに考えを創りあげる場面設定にしていることが、第一の手立てである。また、授業者は4人班での協働学習を通じて学び感じたことを、生徒個々の意見として整理させたり、新たに考えを創出できるようにどのような視点に着目すればよいかを問いかけたりするように介入することが、第二の手立てである。

## 学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指 導 上 の 留 意 点 (◆評価)
<p>□ 1650年と2018年の世界の人口を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1650年は約5億人(教科書P156より)</li> <li>・2018年は約76億人(総務省統計局より)</li> <li>・全員に1秒ずつ会っても240年以上かかるほど多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アクティブボードを使用する。</li> <li>○プリントを配付し、本時のめあてを確認する。</li> </ul>
<p>□ <b>3</b> 「地域別人口の移り変わり」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人口は、1950年時点では約25億人だったが、2012年ごろには70億人と大幅に増加している。</li> <li>・オセアニア州やヨーロッパ州は、人口の増加率は横ばいである。</li> <li>・アジア州やアフリカ州の人口が大幅に増加している。</li> </ul> <p>□ 「人口爆発」・「少子高齢化」の原因とそれぞれの課題を教科書や資料から読み取る。</p> <p>「人口爆発」 原因：医療の発達で乳児死亡率が下がったが、出生率が高いままなので、人口爆発が起きている。 課題：食料・病院・学校が不足し、水道や電気がないなど衛生面に不安がある。</p> <p>「少子高齢化」 原因：高学歴社会となり、結婚や出産する年齢が下がったから。 課題：女性が子育てしやすい支援の必要がある。 国の税収が減り、一人あたりの負担が増える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○班のメンバーでグラフを読みとらせる。</li> <li>○出てきた意見をプリントに記入させる。</li> <li>○何人か指名し、発言させる。</li> <li>◆グラフの読み取りができています。</li> </ul> <p>班のメンバーで資料を読みとらせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パワーポイントの資料を配布する。</li> <li>○出てきた意見をプリントに記入させる。</li> <li>○何人か指名し、発言させる。</li> </ul>
<p>□プリントに「人口爆発」や「少子高齢化」の課題に対する良いアイデアを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○席を戻し、自分の考えをまとめさせる。</li> <li>◆各国の人口変化の様子から課題を見つけ、「持続可能な社会」という観点に基づいて具体的な対策を立てている。</li> </ul>